

「授業改善のポイント」について

県教育局義務教育課

1 資料の見方

令和8年度 全国学力・学習状況調査 結果分析資料

調査問題から見える「授業改善のポイント」＜小学校 国語＞

2四 引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題

【書くこと】＜平均正答率 県29.8%（全国比-3.6）＞

【花山さんの文章の読み】	【集めた情報】								
4 すずしく過ごせる衣服の色は何色か 「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、夜中でもすずしく過ごすことができる。 また、 	<table border="1"><thead><tr><th>本の題名</th><th>本文の一部</th></tr></thead><tbody><tr><td>色の効果</td><td>青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。</td></tr><tr><td>生活と太陽</td><td>白は熱や光を反射する色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をさうしゅうし、熱くなりやすい。</td></tr><tr><td>夏のくらし方</td><td>白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。</td></tr></tbody></table> 【条件】・抜き出した本の題名と内容を「」でくくる ・抜き出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書く ・140字以内で書く 等	本の題名	本文の一部	色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。	生活と太陽	白は熱や光を反射する色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をさうしゅうし、熱くなりやすい。	夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。
本の題名	本文の一部								
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。								
生活と太陽	白は熱や光を反射する色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をさうしゅうし、熱くなりやすい。								
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。								

涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを書くために、【集めた情報】の中から必要な本の題名と本文の一部の内容を選び、必要な箇所を正確に抜き出しながら、【条件】に合わせて自分（花山さん）の考えを□に書く。

【調査結果の分析】

- ・涼しく過ごせる衣服の色について、自分の考えたことを書いているが、【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、抜き出して書かない児童が（32.6%）みられた。

【考えられるつまづきの要因の一例】

- ・引用した部分と自分の考えの関係を明確にして表現した花山さんの文章構成の意図を読み取ることができなかったため、以下のようなことが考えられる。
 - ①考えだけを書けばいいと誤って捉え、【集めた情報】の内容を自分の考えのように書いた。
 - ②【集めた情報】の中から本文の一部を用いて書いている様子がみられるものの、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にし、区別して書くことができなかった。

【正答に導くために指導すること】

- ・何を、どのように答えるのか、問題場面を丁寧に読み取らせる。
- ・引用する目的や、引用する部分を選んだ意図を確かめさせる。
- ・「また」等、接続する語句の役割に着目し、文章全体の展開を捉えさせる。

【授業改善のポイント】

- ①自分の考えを形成したり整理したりするために、読みを深める活動の充実を図る。

➡【子どもの思考】＜抜き出す＞＜比較する＞

活動例・自分の表現に生かすために読む、書き手の意図を知るために読む、伝えたいことを調べるために読むなど、目的に応じて必要な情報を取捨選択する活動に取組む。

- ②引用した部分と自分の考えの関係を明確にし、自力で文章を練り上げる活動の充実を図る。

➡【子どもの思考】＜焦点化する＞＜内省する＞＜関係付ける＞

活動例・読み手に自分の考えが伝わるように引用して書いている文章と、引用して書いていない文章とを読み比べ、引用する目的やよさを確かめる。
・推敲の視点（引用する部分を選んだ意図や目的、表現は適切か、事実と考えを区別して書いているか等）をもとに、友達との交流を通して説得力のある文章へと整える。

- ③単元で付けた力を意識し、文章の構成や書き表し方の工夫などを生かす活動を充実させる。

➡【子どもの思考】＜順序付ける＞＜変換する＞＜関係付ける＞

活動例・理科の観察記録、社会科の報告文、算数科の解き方の説明など、他教科等の学習において、国語科でこれまで学習してきた書き表し方を生かして書く。
・根拠となる理由や事例を明確にし、接続する語句「また」「例えば」「このことから」等の役割への理解を深めながら、日常的に自分の考えを書く活動に取組む。

本県として特徴的な結果が見られた問題

なぜ誤答に至ったのか、考えられる子どものつまづきの要因の例示

正答に導くために指導することの例示

「思考の場面」

その際に子ども・教員が意識する「思考の素」

活動例

2 「思考の場面」と「思考の素」について

○ 考え方の背景（県学力向上推進会議委員長メッセージ、学校教育指導の重点より）

- ・「子どもたち一人ひとりが主役となって思考する場面」と、「その思考過程を表現する場面」を設定した深い学びを通して、資質・能力をしっかりと育成することが大切
- ・課題解決の際に汎用的に働き、学習の基盤となる資質・能力の一部と考えられる「思考の素」を自在に働かせるためには、活用する場面を数多く設定し経験させていくことが必要
- ・教師が「思考の素」を意識することにより、児童生徒に対する漠然とした働きかけが、より子どもの思考に寄り添った働きかけに変わることにもつながる

◇ 思考の場面

思考の場面	説明
広げながら考える	視点を増やしたり、視野を広くしたりして、ものごとに対する自分の見方や考え方等を広げながら考える。
深めながら考える	視点を定めたり、焦点を絞ったりして、ものごとに対する自分の見方や考え方等を深めながら考える。
組み立てながら考える	自分で視点を見出したり、根拠を挙げたりして、ものごとに対する自分の見方や考え方等を、筋道を立ててまとめながら考える。

◇ 思考の素

思考の素		子どもの言葉
*見通す	予 想 推 測	もしかしたら……かもしれない きっと……だろう
拡張する	拡 散	他には……
	発 展	だったら……
	適 用	～にあてはめると……
*比較する	相 似	似ているところは……
	相 違	違いは……
	変 化	変わったところは……
*関連付ける	接 続	つなげると……
*順序付ける	時系列	はじめに、次に、最後に……
批判する	反 論	でも…… だけど……
焦点化する	特 徴 特 長	目立つところは… よいところは……
	*分類・整理 傾 向 列 挙	仲間分けすると…… ……がよく見られる このまま……になりそう ……と……と
	*多面的 *多角的	……でもあるけれど……でもある 別の立場で考えると……
変換する	理想化	～と見ると…… ～と考えると……
	*具体化 特殊化	具体的に考えると…… 例えば……
	一般化 *抽象化	つまり……だと言える 共通することは……
	解 釈 意味理解	……ということだ
	類 推	同じように見ると……
内省する	省 察	ふりかえると……
抜き出す	抽 出	必要なところは…… 欠かせないところは……
	消 去	取り除いていくと……
関係付ける	重点化	大事にしたいところは……
	*構造化	考えをまとめると……
	*理 由 根 拠	わけは…… ……ということから

*『小（中）学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総合的な学習の時間編』における「考えるための技法」に例示があるもの（類似含む）

調査問題から見える「授業改善のポイント」＜小学校 国語＞

2四 引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題 [書くこと] ＜平均正答率 県29.8%（全国比－3.6）＞

【花山さんの文章の続き】

4 すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しやる色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

【条件】 ・抜き出した本の題名と内容を「」でくくる
・抜き出した内容をもとに、涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを書く
・140字以内で書く 等

涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを書くために、【集めた情報】の中から必要な本の題名と本文の一部の内容を選び、必要な箇所を正確に抜き出しながら、【条件】に合わせて自分（花山さん）の考えを□に書く。

【調査結果の分析】

- ・涼しく過ごせる衣服の色について、自分の考えたことを書いているが、【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、抜き出して書かない児童が (32.6%) みられた。

【考えられるつまずきの要因の一例】

- ・引用した部分と自分の考えの関係を明確にして表現した花山さんの文章構成の意図を読み取ることができなかったため、以下のようなことが考えられる。
 - ①考えだけを書けばいいと誤って捉え、【集めた情報】の内容を自分の考えのように書いた。
 - ②【集めた情報】の中から本文の一部を用いて書いている様子がみられるものの、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にし、区別して書くことができなかった。

なぜ？

【正答に導くために指導すること】

- ・何を、どのように答えるのか、問題場面を丁寧に読み取らせる。
- ・引用する目的や、引用する部分を選んだ意図を確かめさせる。
- ・「また」等、接続する語句の役割に着目し、文章全体の展開を捉えさせる。

【授業改善のポイント】

- ①自分の考えを形成したり整理したりするために、読みを深める活動の充実を図る。

➡【子どもの思考】 〈抜き出す〉〈比較する〉

活動例 ・自分の表現に生かすために読む、書き手の意図を知るために読む、伝えたいことを調べるために読むなど、目的に応じて必要な情報を取捨選択する活動に取り組む。

- ②引用した部分と自分の考えの関係を明確にし、自力で文章を練り上げる活動の充実を図る。

➡【子どもの思考】 〈焦点化する〉〈内省する〉〈関係付ける〉

活動例 ・読み手に自分の考えが伝わるように引用して書いている文章と、引用して書いていない文章とを読み比べ、引用する目的やよさを確かめる。
・推敲の視点（引用する部分を選んだ意図や目的、表現は適切か、事実と考えを区別して書いているか等）をもとに、友達との交流を通して説得力のある文章へと整える。

- ③単元で付けた力を意識し、文章の構成や書き表し方の工夫などを生かす活動を充実させる。

➡【子どもの思考】 〈順序付ける〉〈変換する〉〈関係付ける〉

活動例 ・理科の観察記録、社会科の報告文、算数科の解き方の説明など、他教科等の学習において、国語科でこれまで学習してきた書き表し方を生かして書く。
・根拠となる理由や事例を明確にし、接続する語句「また」「例えば」「このことから」等の役割への理解を深めながら、日常的に自分の考えを書く活動に取り組む。

調査問題から見える「授業改善のポイント」＜中学校 国語＞

③三 段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫することができるかどうかをみる問題 [書くこと] ＜平均正答率 県 64.2%（全国比－0.8）＞

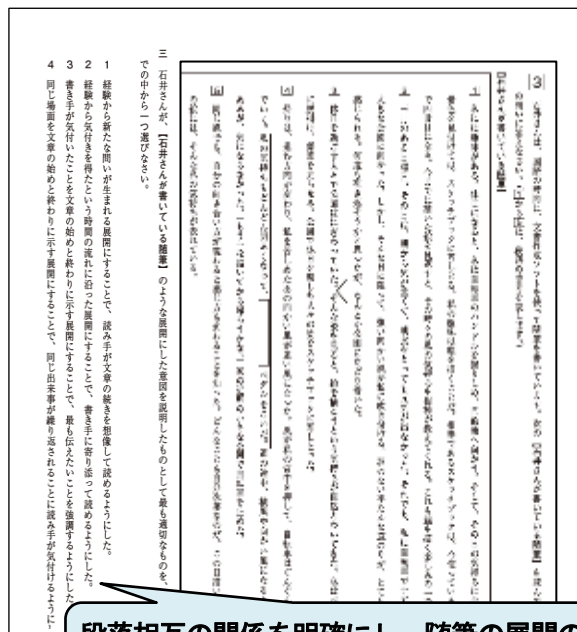
【調査結果の分析】

- ・正答は選択肢2であるが、選択肢3「書き手が気づいたことを文章の始めと終わりに示す展開にすることで、最も伝えたいことを強調するようにした。」を誤って選択した生徒（19.7%）が多かった。

なぜ？

【考えられるつまずきの要因の一例】

- ・①段落の最後の二文を書き手が気づいたことと読み取り正答であると誤って捉えた。
- ・①段落の話題提示の文章が過去から継続している自分の経験であるため、時間の流れに沿って展開していないと誤って捉えた。
- ・「最も伝えたいこと」を正確に捉えられない。



段落相互の関係を明確にし、随筆の展開の意図を問う問題

【正答に導くために指導すること】

- ・それぞれの段落の内容や役割を捉え、文章の構成や展開を理解できるようにする。

【授業改善のポイント】

○「読むこと」の指導との関連を図り、文章の構成や展開、表現の効果、作者の主張等について考えさせる。

➡【子どもの思考】〈関係付ける〉〈関連付ける〉

- 活動例**
- ・文章を構成する段落や場面などの内容を短い言葉でまとめ、それぞれの役割を捉える。
 - ・説明的な文章を読み、文章を構成するそれぞれの部分が、どのような関係で結び付いているのか、図や矢印を使って整理し、文章の構成を考えながらどのような主張や結論を支えているのか考える。
 - ・文学的な文章を読み、回想や視点の変化、時間の変化などの多様な工夫を見つけ、書き手の立場にたって、表現の効果や文章の展開の意図を考える。

○「書くこと」の指導において、伝えたいことを効果的に伝えるために、文章の構成や展開、表現を工夫させる。

➡【子どもの思考】〈拡張する〉〈比較する〉

- 活動例**
- ・解説文や論説文、小説や随筆などの様々な種類の文章を読み、筆者が伝えたいことを効果的に伝えるために、どのような構成や展開を工夫しているかを確認して、文章を書くことに生かす。
 - ・これまで学習した文章の構成や展開、表現の工夫を想起させ、自分が伝えたいことをより効果的に伝えられる方法を選択して書く。
 - ・作成した文章を互いに読み合い、読み手にとって説得力のある文章の構成や展開となっているかを検討し、推敲する。

調査問題から見える「授業改善のポイント」＜小学校 算数＞

2 (4) 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる問題

〔数と計算、変化と関係〕〈平均正答率 県 26.6% (全国比-7.6)〉

比較量である赤いテープから、基準量である白いテープの長さの1.5倍であることを捉えることが求められる。

【調査結果の分析】

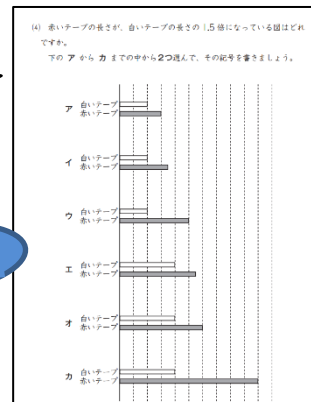
- ・基準量の1.5倍に当たる量を、基準量より1.5目盛り分多い量であると誤って捉え、イとエと誤答する児童が(38.9%)見られた。

【考えられるつまずきの要因の一例】

- ・1.5という数を基準量の倍ではなく、目盛りに目を向けたことが考えられる。

【正答に導くために指導すること】

- ・問題場面から、基準量、比較量、割合の関係を捉えられるように図や式を用いて表現させる。



なぜ？

【授業改善のポイント】

○思考した過程や結果などを数学的な表現を用いて伝え合う機会を通して、数学的に表現することの良さを実感できる場面を設ける。

➡【子どもの思考】〈焦点化する〉〈変換する〉

- 活動例
- ・実際にテープを使って、整数倍と小数倍の違いを比較して確かめ、小数倍の意味を理解できるようにする。また、適宜練習の機会を設け、適切な反復による学習を行う。
 - ・数直線や関係図を使って、基準量と比較量に当たるのは何かを視覚的に理解できるようにする。図や式などを活用して、問題解決を過程やその結果を分かりやすく表現し、他者と伝え合うなど対話的に学ぶようにする。

3 (2) 整数と小数の減法の計算をすることができるかどうかをみる問題

〔数と計算〕〈平均正答率 県 54.9% (全国比-3.2)〉

小数点をそろえて位ごとに計算したり、0.01の幾つ分とみて整数の減法に帰着して計算したりすることが求められ

【調査結果の分析】

- ・イを2.76と誤答する児童が(13.1%)見られたことから、整数から小数の減法の計算をすることに課題があると考えられる。

【考えられるつまずきの要因の一例】

- ・5を5.00と捉えられず、整数部分のみを計算していると考えられる。
- ・0.01の幾つ分とみて整数の減法に帰着して計算ができていないと考えられる。

【正答に導くために指導すること】

- ・位取り表を活用し、小数点を基に位を揃えて書き、空位を0と考え、位ごとの計算ができるようにする。

(2) たいがさんたちは、【5-4-2】で遊ぶことにしました。

【5-4-2】
① 引いたカード3枚すべてを、□に当てはめて小数をつくります。
□ □ □
② 5に引き算をつけた方が、勝ちです。

ひまりさんは、② ③ ⑦ を引きました。

どちらの方が5に近いかな。
ひまり ⑥ ③ ⑦ ③.76

6.37と3.76のどちらの方が5に近いかを調べるために、ずのどとをひき算をします。
それぞれの計算の答えを書きましょう。

ア 6.37 - 5
イ 5 - 3.76

なぜ？

【授業改善のポイント】

○整数や小数、分数を関連付けて数の表し方の仕組みについて考えられるように指導する。

➡【子どもの思考】〈拡張する〉〈関係付ける〉

- 活動例
- ・整数や小数、分数は単位の幾つ分として見るできるように、位取り表を活用する。
 - ・相対的な大きさを用いて、小数の計算を整数の計算に直して処理することを大切にすること。

調査問題から見える「授業改善のポイント」＜中学校 数学＞

6 (3) 統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題

〔数と式〕＜平均正答率 県 40.4%（全国比－4.3）＞

【調査結果の分析】

- ・「～は、」の部分も「…になる。」の部分も説明できていない生徒は全体の 24.4%、無解答の生徒は全体の 25.3%であった。

なぜ？

【考えられるつまずきの要因の一例】

- ・ $A - B$ がどんな数になるのか、予想できていない。
- ・ 仮定と結論の意味が理解できていない。
- ・ 何を説明する必要があるのか、理解できていない。

【正答に導くために指導すること】

- ・ 具体的な数や文字を用いて確かめる活動を通して、成り立つ事柄を予想させる。
- ・ 根拠を明らかにして説明し伝え合う機会を設ける。

手順に従ってできたAとBについて、 $A - B$ の値がどんな数になるかを、選んだ2数の差に着目して説明する

手順

- ① 1から9までの自然数の中から異なる2つの数を選ぶ。それを「選んだ2数」と呼ぶ。(例：1と2)
- ② 選んだ2数の大きい方を百の位と一の位とし、小さい方を十の位としてできた3けたの自然数をAとする。(例：212)
- ③ 選んだ2数の小さい方を百の位と一の位とし、大きい方を十の位としてできた3けたの自然数をBとする。(例：121)

二人は、 $A - B$ の値について話し合っています。

夏帆さん「182、273、364は、どんな数なのかな。」
陸斗さん「例えば364は、選んだ2数の5と9の差である4と関係があるかもしれないね。」
夏帆さん「選んだ2数の差の何倍かになっていないかな。」

手順にしたがってできたAとBについて、 $A - B$ の値は、選んだ2数の差に着目すると、どんな数になると予想できますか。7ページの陸斗さんの予想のように、下の□に当てはまることばを「～は、……になる。」という形で書きなさい。

手順にしたがってできたAとBについて、

【授業改善のポイント】

○予想が成り立つことを説明するためには、どのような形の式になればよいのか、見通しをもつ活動を充実させる

➡【子どもの思考】＜変換する＞＜内省する＞

活動例・数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表したり、読み取ったりする数学的活動を充実させる。

- ・ ある命題が成り立つことを説明する場面で、根拠を明らかにして、筋道を立てて論理的に説明することを大切にする。

2 同類項の意味を理解しているかどうかをみる問題

〔数と式〕＜平均正答率 県 65.5%（全国比－5.0）＞

【調査結果の分析】

- ・ $-5x$ ではなく、 $5x$ と $2x$ または $7x$ と $5x$ と $2x$ と解答した生徒は全体の 11.1%、 $7x^2$ または $7x$ と $7x^2$ と解答した生徒は全体の 4.3%であった。

なぜ？

下の式で、 $7x$ の同類項をすべて書きなさい。

$$7x + 9 - 5x + 7x^2 + 2x$$

7xの同類項をすべて書く

【考えられるつまずきの要因の一例】

- ・ 項そのものの定義が理解できておらず、さらには係数の意味が理解できていない。

【授業改善のポイント】

○文字の概念的な理解を重視する活動を充実させる

➡【子どもの思考】＜焦点化する＞＜内省する＞

活動例・正の数と負の数の学習において、加法と減法を統一的にみる活動を充実させる。

- ・ 既習の知識や技能を活用する際、基礎・基本を学び直す場面を設定する。

調査問題から見える「授業改善のポイント」＜中学校 英語＞

10 社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉えることができるかどうかをみる問題 〔読むこと〕＜平均正答率 県 41.2%（全国比-6.3）＞

【まいこが書いた文章】

Today, many junior high school students use the internet to play games. However, I think we should use the internet for learning more often because it is useful. For example, there are many good videos for learning English. They are easy to understand. Also, there are many good dictionaries on the internet. We can find the meaning of an English word quickly. Do you think my opinion is good?

＜解答欄＞

☐ 1 Many junior high school students use the internet to play games.

☐ 2 Junior high school students should use the internet for learning more often.

☐ 3 There are many good videos for learning English.

☐ 4 We can find the meaning of an English word quickly.

インターネットの使用に関する文章を読んで、書き手が最も伝えたいことを選ぶ

【調査結果の分析】

- ・ 選択肢 3 “There are many good videos for learning English.” を誤って選択した生徒が 22.7%であった。また、選択肢 4 “We can find the meaning of an English word quickly.” を誤って選択した生徒が 25.6%であった。

なぜ？

【考えられるつまずきの要因の一例】

- ・ 具体例や事実となる情報を、まいこが最も伝えたいこと（要点）と誤って捉えた。

【正答に導くために指導すること】

- ・ 文章全体を通して読み、情報の関係性を整理すること。

【授業改善のポイント】

○文章全体を通して読み、文と文との関係を把握し、情報を比較する活動の充実を図る。

➡【子どもの思考】＜焦点化する＞＜抜き出す＞

活動例・文章を読み、語句や文脈などを手掛かりに、意見や具体例、事実などに情報を整理する。
・ 書き手が最も伝えたいことだと判断した根拠を話し合う。

13 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる問題 〔書くこと〕＜平均正答率 県 36.9%（全国比-7.2）＞

【調査結果の分析】

- ・ 語数を満たしているが、「一緒にしたいこと」と「その理由」の一方あるいは双方を満たしていない生徒が 16.7%であった。
- ・ 語数を満たしていない生徒が 37.4%であった。

なぜ？

【考えられるつまずきの要因の一例】

- ・ 「一緒にしたいこと」に対する「理由」が不明確だった。
- ・ 書く内容が思い浮かばなかった、または、内容は思い浮かんだが英語で表現できなかった。

【正答に導くために指導すること】

- ・ 事実や自分の考え、気持ちなどを整理して英文を書くこと。

【授業改善のポイント】

○生徒同士の読み合いや教師のフィードバックを基に、書いた英文を推敲する場を設定する。

➡【子どもの思考】＜比較する＞＜内省する＞

活動例・生徒同士の英文の比較や教師の助言を基に、書いた英文を言語面や内容面から見直す。
（教師の助言例）「どうしてそう思った？」「例えば？」「他には？」などの問いかけやコメントで、内容の充実を促したり、英文量を増やしたりする。

○読む活動で理解した文章の構成や英語の表現を、書くことにつなげる活動の充実を図る。

➡【子どもの思考】＜焦点化する＞＜内省する＞

活動例・文章を読んで構成や英文の表現を把握し、それらを参考にして英文を書く。どう書いたらいかが分からない生徒は、読んだ文章から参考になりそうな表現を選んで書く。

What do you want to do with Tom?

【例】



留学生との交流会で一緒にしたいことと、その理由を15語以上30語以内で書く